

# Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

## 取扱説明書

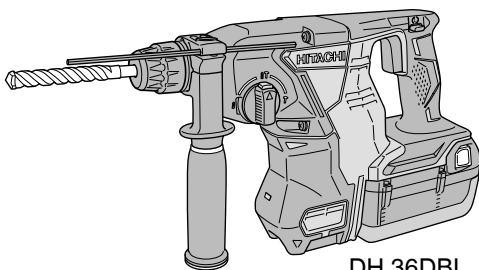
### 用途

- コンクリートの穴あけ
- コンクリートのハツリ、破碎、溝掘り、角出し、切断、はがし
- 金属、木材の穴あけ、および小ねじ、木ねじの締付け

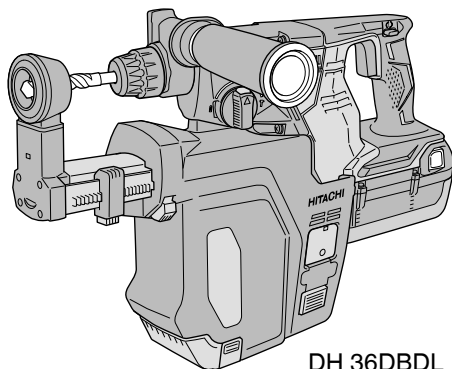
# 日立 コードレスロータリハンマドリル

36 V DH 36DBL DH 36DBDL [集じんシステム付]

このたびは日立コードレスロータリハンマドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



DH 36DBL



DH 36DBDL

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	12
各種先端工具のご紹介	14
別売部品	15

はじめに

基本機能について	16
作業モードの設定	19
回転数・打撃数の調整	20
スリップクラッチ機構について	20
RFC について	21
工具の取付け・取りはずし	22
蓄電池を充電する	23
穴をあける	25
ハツリ・破碎する	27
穴をあける・ねじを締付ける	29
作業上のご注意	32
テーパシャンクアダプタの使い方	33
ダストカップ・集じんカップ (B) の使い方	34
コアビットの使い方	35
電池スペーサの使い方	37

使い方

保守・点検	38
故障診断	41
ご修理のときは	裏表紙

その他

HITACHI

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注**の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠警告**

#### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

#### ② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

## ⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **感電に注意してください。**  
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。  
感電の恐れがあります。
- ⑤ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。  
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**  
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。  
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。  
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

## ⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
  - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**  
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**  
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
  - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
  - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスロータリハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

- ① **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に良く確かめてください。**  
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② **使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。**  
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ **使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。**  
けがの原因になります。
- ④ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ **誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ **シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**
- ⑦ **蓄電池は確実に取付けてください。**  
確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。  
特に高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。

## ⚠注意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。  
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
- ④ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ⑤ 作業直後の工具類およびその取付部周辺は高温になっているので、触れないでください。  
やけどの原因になります。
- ⑥ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。  
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑦ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。  
けがの原因になります。
- ⑧ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。  
故障の原因になります。
- ⑨ 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。  
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)  
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
1.4 V 蓄電池 (BSL14xx シリーズ) の場合：電池電圧約 8 V まで低下すると停止  
1.8 V 蓄電池 (BSL18xx シリーズ) の場合：電池電圧約 10 V まで低下すると停止  
2.2 V 蓄電池 (BSL22xx シリーズ) の場合：電池電圧約 14 V まで低下すると停止  
3.6 V 蓄電池 (BSL36xx シリーズ) の場合：電池電圧約 20 V まで低下すると停止  
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中にコードレス工具にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆に使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。



## ⚠ 警告

- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

## 蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

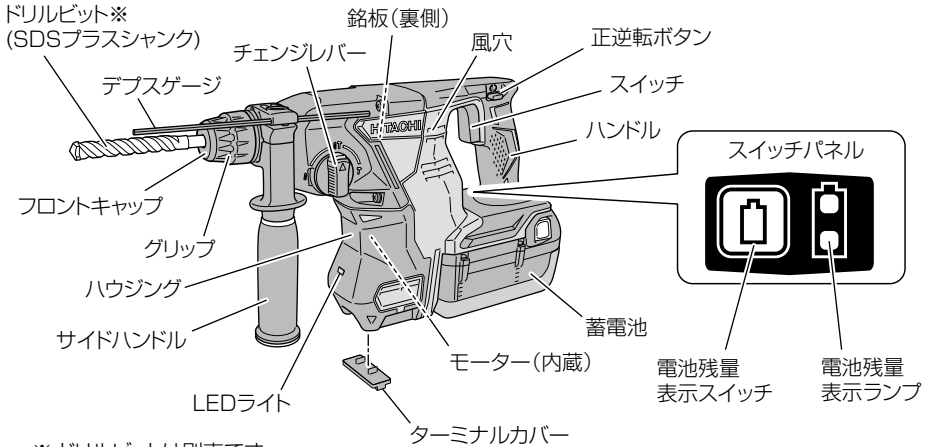


### ○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

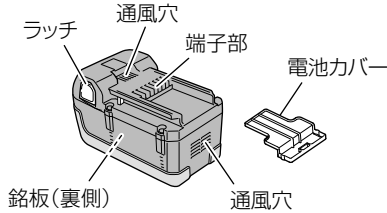
# 各部の名称

## 工具本体

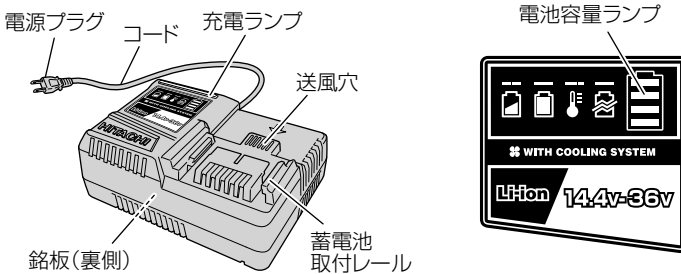


## 蓄電池

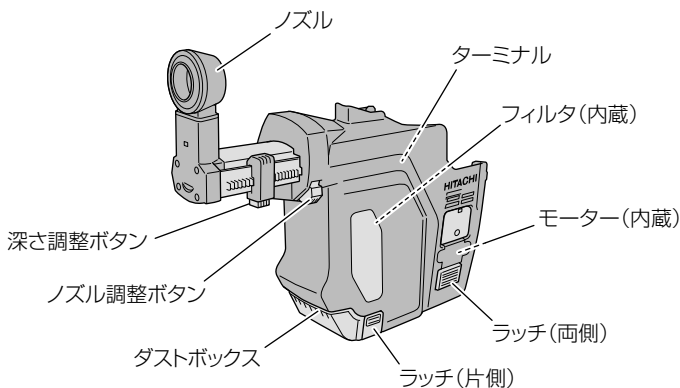
### 36V (BSL3660)



## 充電器



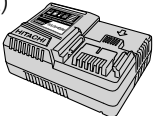

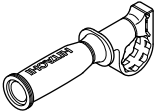

## 集じんシステム【DH 36DBDL に標準付属】



**注** 集じんシステムを工具本体に取付ける際、工具本体からターミナルカバーを取りはずしてください。

※取扱いについては、「コードレスロータリハンマドリル用集じんシステム」の取扱説明書を参照してください。

## 標準付属品

品名 (形名)	形名 仕様	DH 36DBL		DH 36DBDL
		2LYCK	NN	2LYCK
蓄電池 (BSL3660)		2 個 (1個は本体装着)	—	2 個 (1個は本体装着)
充電器 (UC36YSL)		1 台	—	1 台
デブスゲージ		1 本	1 本	1 本
サイドハンドル		1 個	1 個	1 個
収納ケース		1 個	—	1 個
電池カバー		2 個	—	2 個
ターミナルカバー		1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個
集じんシステム		—	—	1 台

# 仕 様

## 1. 工具体

形 名	DH 36DBL	DH 36DBDL <sup>※1</sup>
穴あけ能力	コンクリート：3.4～28 mm 鉄工：13 mm 木工：32 mm	コンクリート：4.3～20 mm
無負荷回転数 [気温20℃満充電時]	0～1,100 min <sup>-1</sup> {回/分}	
無負荷打撃数 [気温20℃満充電時]	0～4,300 min <sup>-1</sup> {回/分}	
モーター	直流モーター	
適用ビット	SDS プラスタイプ	
工具体寸法 全長×高さ×全幅	390×232×93 mm (BSL3660 装着時)	534×314×93 mm (集じんシステム、BSL3660 装着時)
質 量	4.8 kg (BSL3660 装着時)	6.6 kg (集じんシステム、BSL3660 装着時)
LED ライト	白色 LED	白色 LED <sup>※2</sup>
電池残量表示ランプ	赤色 LED	
振動3軸合成値 <sup>※3</sup>	回転+打撃：16.0 m/s <sup>2</sup> <sup>※4</sup> 打撃：12.2 m/s <sup>2</sup>	回転+打撃：16.5 m/s <sup>2</sup> <sup>※4</sup>

※1：集じんシステムを取付けた状態の仕様です。

集じんシステムを取りはずした状態で使用する場合は、DH 36DBL と同じ仕様になります。

※2：集じんシステムを取付けた状態では、LED ライトは点灯しません。

※3：振動3軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値）については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>  
をご参照ください。

※4：振動3軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定しています。

## 2. 充電器

形 名	UC 36YSL	
入 力 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
充 電 電 圧	14.4 V – 36 V	
充 電 可 能 蓄 電 池 お よ び 背 負 式 電 源	日立リチウムイオン電池	14.4 V (BSL14xx シリーズ) 18 V (BSL18xx シリーズ) 25.2 V (BSL25xx シリーズ) 36 V (BSL36xx シリーズ)
	日立背負式電源	36 V (BSL36200)
充 電 時 間 <sup>※1</sup> [気温 20℃時]	6.0 Ah 品: 約 60 分 5.0 Ah 品: 約 50 分 4.0 Ah 品: 約 40 分 3.0 Ah 品: 約 30 分 2.6 Ah 品: 約 25 分 2.5 Ah 品: 約 25 分 2.0 Ah 品: 約 20 分 1.5 Ah 品: 約 15 分 1.3 Ah 品: 約 15 分 2.1 Ah 品: 約 3 時間	
充 電 電 流	6.0 A	
コ ー ド	2 心ビニールコード	
質 量	0.8 kg	
使 用 温 度 範 囲 <sup>※2</sup>	-10℃～40℃	
冷 却	対応 (ファン付き)	
ブ ザ ー 音	あり	

※1: 蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2: 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなる場合があります。

## 3. 蓄電池

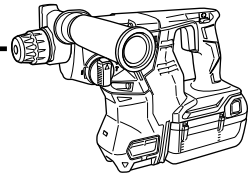
形 名	BSL 3660	
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電 池 電 圧	36 V	
容 量	6.0 Ah	
冷 却	対応	

# 各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

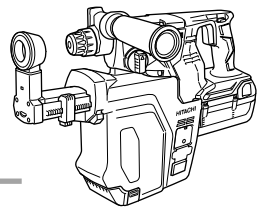
なお、本製品の工具取付部は SDS プラスシャンクタイプとなっておりますので、このタイプの先端工具または接続工具を使用してください。

	先端工具	接続工具
回転 + 打撃	●コンクリート、タイルの穴あけ ドリルビット・デルタゴンビット	(上向き作業にて必要に応じ使用) ダストカップ 集じんカップ(B)
	●アンカ下穴あけ ドリルビット(テーバシャンク)	テーバシャンクアダプタ コッタ
	●大径穴あけ ガイドプレート センタピン コアビット	コアビットシャンク
	●ケミカルアンカボルトの打込み作業 六角ソケット	ケミカルアンカアダプタ
打撃のみ	●アンカー打込み作業 アンカセッタ	
	●破砕作業 フルポイント四角 フルポイント丸	
	●溝切り・角出し・はがし作業 コールドチゼル カッタ	
	●溝掘り作業 グルーピングチゼル	
回転のみ	●大径穴あけ 湿式ダイヤモンドコアビット ※	アダプタ(A)
	●断熱材入り複合壁、サイディングなどの穴あけ ハイパーダイヤモンドコアビット ※	SDSプラスシャンク
	●鉄筋コンクリート、モルタルなどの穴あけ スーパーダイヤモンドコアビット ※	
	●木材、窯業系・金属系サイディングなどの穴あけ スーパーウッドコアビット	
	●ねじ締付け作業 プラスビット ドライバビット	チャックアダプタセット
回転 + 打撃	●コンクリート、タイルの穴あけ ドリルビット・デルタゴンビット	



(集じんシステムを取りはずした状態)

※ダイヤモンドコアビットで  
使用の場合、本体の温度上  
昇が高くなり連続的な穴あ  
け作業はできません。  
連続使用 15 分につき 30  
分程度休ませてからご使用  
ください。



(集じんシステムを取付けた状態)

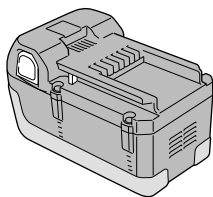
**注** 集じんシステムを取付けた状態では、ドリルビット、デルタゴンビット以外の取付けはできません。

はじめに

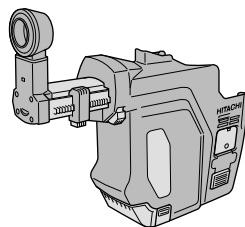
# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 蓄電池 BSL3660

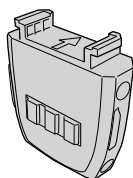


## 集じんシステム



DH 36DBL に本製品を取付けることで、DH 36DBDL と同じ仕様となります。

## 電池スペーサ



蓄電池 BSL 3626 を使用する場合は、本部品を工具本体に取付けてご使用ください。

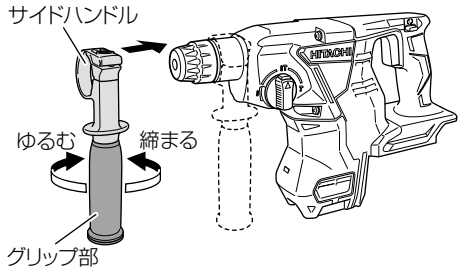


# 基本機能について

## ● サイドハンドルについて

### ⚠ 警告

使用時は、必ずサイドハンドルを取付け、確実に固定してください。  
確実に固定していないと、大きな負荷がかかったときに工具本体が振られて、けがの原因になります。



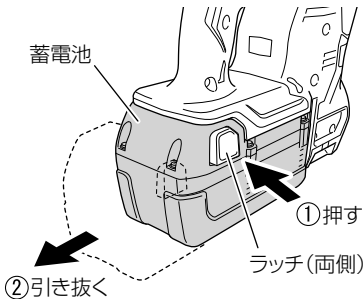
製品出荷時サイドハンドルは十分に締付けてありませんので、グリップ部をゆるめ本体にさし込み、使用状況に合わせた角度にしっかりと締付けてください。

## ● 蓄電池の取りはずし・取付け

### ⚠ 警告

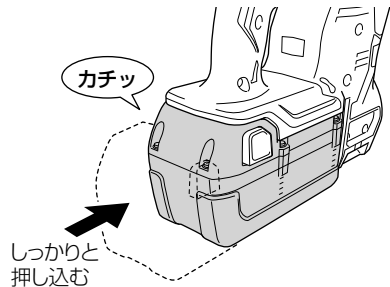
蓄電池は確実に取付けてください。  
確実に固定していないと蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

取りはずすとき



蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取付けるとき



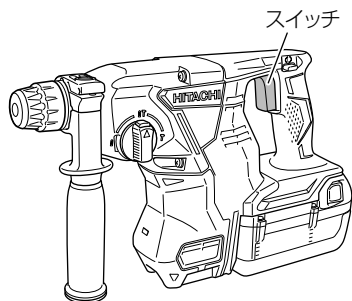
蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

## ●スイッチについて

スイッチの引込み量で無段階に回転数が変わります。

穴あけ開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。



## ●LED ライトの使い方

### ⚠注意

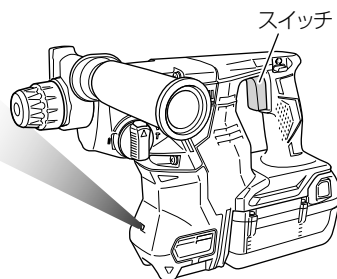
LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。

LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

スイッチを引いている間、自動的に LED ライトが工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなして、約 10 秒後に LED ライトは自動消灯します。

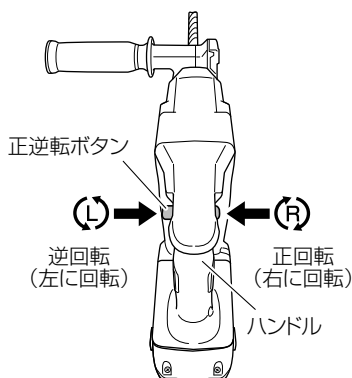
- 注**
- レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないように注意してください。
  - 集じんシステムを取付けた状態では、LED ライトは点灯しません。



## ●回転方向の切替え

右図のように正逆転ボタンの(R)側を押し込むと先端工具はハンドル側から見て正回転(右回り)、(L)側を押し込むと逆回転(左回り)に切替わります。

**注** 運転中、正逆転ボタンの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから正逆転ボタンを押ししてください。






## ● 電池残量表示ランプについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

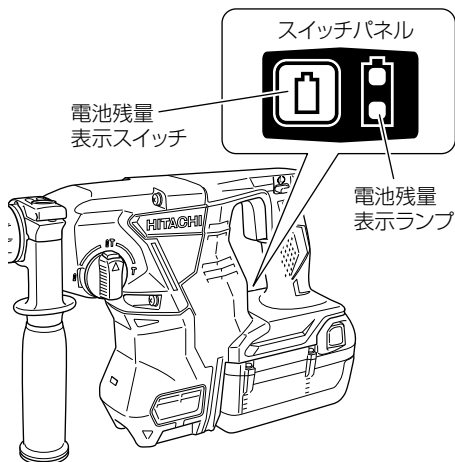
電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が約半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

- 注**
- 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。
  - ランプは蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。
  - 作業中にランプが点滅したときは、RFC が作動したことを意味します。(P.21 「RFC について」 参照)

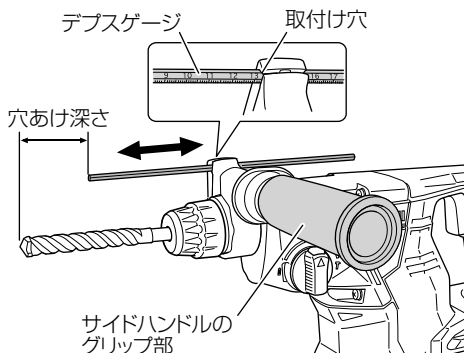


## ● デプスゲージの使い方

付属のデプスゲージは穴あけ深さの調整に用いるものです。同じ深さの穴を連続してあける場合、能率が上がり、穴の深さが正確になります。

**1** サイドハンドルのグリップ部を回してゆるめ、サイドハンドルの取付け穴にデプスゲージを通します。

**2** 所定の穴深さになったときデプスゲージが材料に突き当たるよう位置を調整し、サイドハンドルのグリップ部を回してしっかりと固定します。



# 作業モードの設定

## ⚠注意

- モーター停止時に切替レバーを操作してください。  
モーターの回転中に切替えると、不意に工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- ハツリ・破碎用工具などは必ず"打撃"モードで使用してください。  
"回転+打撃"モードで使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

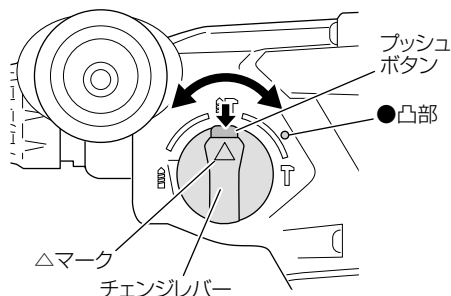
## 作業モードの設定

プッシュボタンを押し、チェンジレバーを回して△マークを各マーク位置に合わせます。

ⓘ……………"回転+打撃"モード

↑……………"打撃"モード

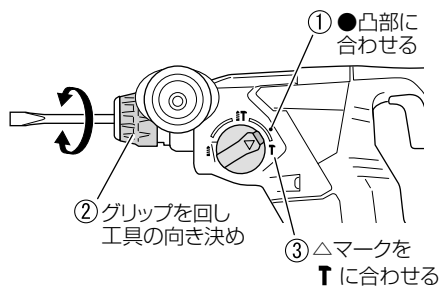
⊏……………"回転"モード



## 工具の位置決め

コールドチゼルやカッタなどの工具先端の向きを決めるときは、チェンジレバーを回して、△マークを ⓘ マークと ↑ マークの間にある ● 凸部に合わせます。

グリップを回し、工具の向きを決めます。次にチェンジレバーを回して、△マークを ↑ に合わせます。



- 注**
- 確実にロックされているか、プッシュボタンを押さないでチェンジレバーが回らないことを確認してください。
  - "回転"でする作業を"回転+打撃"の状態で行うと穴あけ能率が上がらないばかりでなくドリルを傷めるので、十分注意してください。  
ねじを締付ける場合は必ず"回転"の状態で行ってください。  
また、"打撃"でする作業の場合は、必ず回転方向を正回転の(R)側に切替えてください。
  - チェンジレバーの操作の際は、必ずプッシュボタンを押してチェンジレバーのロックを解除してから行ってください。

# 回転数・打撃数の調整

回転数、打撃数は、スイッチの引きぐあいにより下表の範囲で変化します。

形 名	DH 36DBL / DH 36DBDL
回転数	0 ~ 1,100 min <sup>-1</sup> {回/分}
打撃数	0 ~ 4,300 min <sup>-1</sup> {回/分}

タイル、レンガなどのもろい材料への穿孔は低速でお使いください。  
割れが入りにくくなります。  
コンクリートなどには高速でお使いください。

## スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の機体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間  
(注1)  
の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。  
(注2)

注 1: コンクリートの穴あけ中に、鉄筋等に当たり急に先端工具が止まろうとする力

注 2: 先端工具が急に止まったとき、反動で機体側が回ろうとして、持っている手がねじられる力

**注** スリップクラッチが作動し、ドリルビットの回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。

# RFC(リアクティブフォースコントロール)について

本製品は、工具本体が振られてしまう現象を軽減する RFC(リアクティブフォースコントロール) が搭載されています。

急激に大きな負荷が先端工具にかかると、スリップクラッチ機構が作動または工具本体に内蔵されたコントローラがモーターを停止させ、上記現象を軽減します。

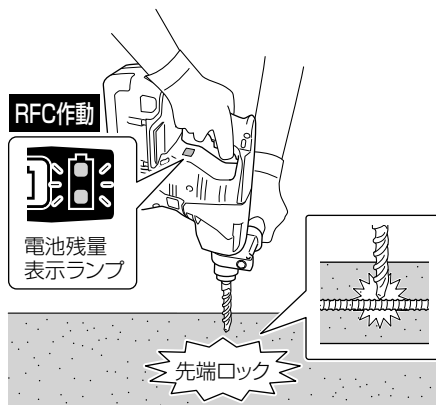
コントローラの検出により、モーターを停止した場合は、スイッチを引いている間、電池残量ランプが点滅してお知らせします。

作業時の状況・条件等により作動しない、あるいは性能を十分に発揮できない場合がありますので、急激に大きな負荷が先端工具にかからないよう注意し、作業してください。

## 急激な負荷を発生させる原因

- ① 材料による先端工具のかみ込み
- ② 釘・金属などの接触
- ③ 本体をこじる作業・過度な押し付け

など、および、これらの複合的な原因があります。



## RFC が作動したら…

RFC が作動してモーターが停止したときは、本体のスイッチを切り、大きな負荷となった原因を取除いてから作業を再開してください。

# 工具の取付け・取りはずし

## ⚠ 警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

## ⚠ 注意

工具は、当社指定の別売部品を使用してください。  
(P.14「各種先端工具のご紹介」参照)

この機体の工具取付け部は、SDS プラスシャンク品専用となっております。  
SDS プラスシャンクの先端工具または接続工具を使用してください。

### 取付け

**1** 工具のシャンク部をきれいに拭き、グリースまたは機械油を塗布します。

**2** 工具をフロントキャップの穴にさし込み、奥まで突き当てます。

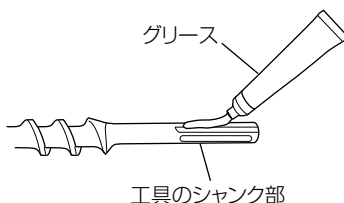
**3** 工具を軽く押しながら回していくと、引っ掛かりのある箇所が確認できます。  
その箇所を、工具を矢印方向へ奥に突き当たるまで押し込みます。  
(工具装着時は、グリップの操作不要です。)

**4** 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。

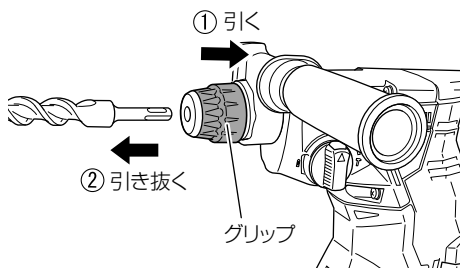
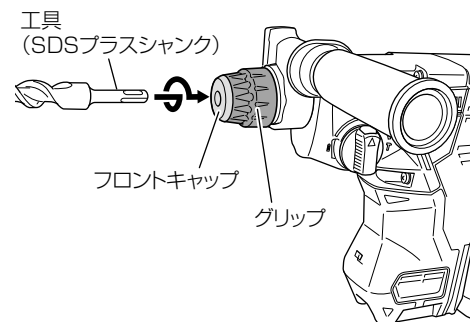
### 取りはずし

工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向へいっぱい引き、工具を引き抜きます。

**1**



**2 3**



# 蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

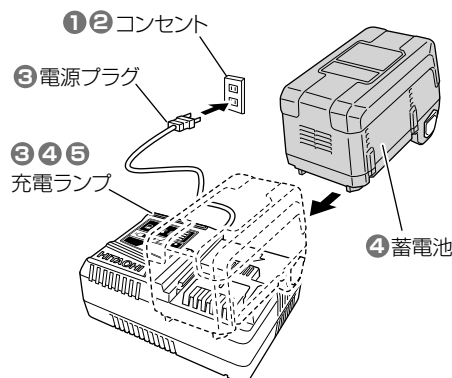
## ⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 充電時間

BSL3660 : 約 60 分

**注** 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.24「充電ランプの表示について」参照)

## 4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

## 5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



## ●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。  
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯  (断続ブザー音: 約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

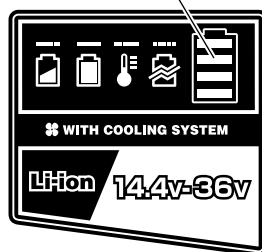
**注** 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。  
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

## ●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

**注** 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

# 穴をあける

●コンクリート穴あけ

集じんシステム取付けの穴あけ作業は、「コードレスロータリハンマドリル用集じんシステム」の取扱説明書を参照してください。

## 警告

工具やデブスゲージの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

### 1 工具を取付ける

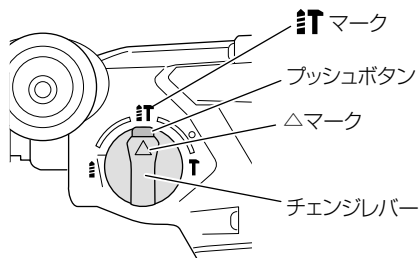
P.22「工具の取付け・取りはずし」の順に従い工具を取付けます。

### 2 必要に応じてデブスゲージを取付ける

P.18「デブスゲージの使い方」を参照してください。

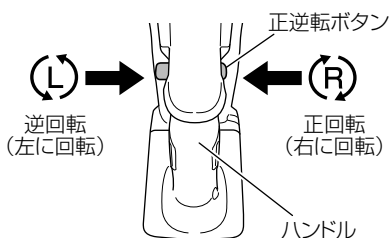
### 3 作業モードを"回転+打撃"に切替える

プッシュボタンを押し、チェンジレバーを回してITに合わせます。  
(P.19「作業モードの設定」参照)



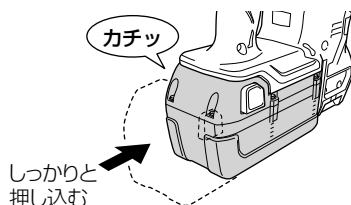
### 4 正逆転ボタンを(R)側から押し、正回転にする

(P.17「回転方向の切替え」参照)



### 5 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。  
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



## ⚠ 警告

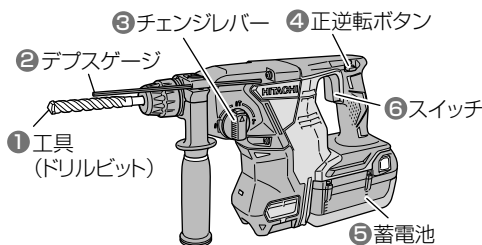
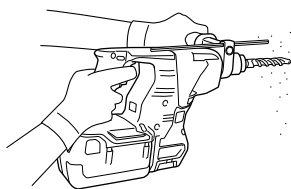
サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。  
工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

## ⚠ 注意

作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。  
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

## 6 スイッチを入れる

- 穴あけ位置に工具の先を当ててからスイッチを入れます。
- スイッチの引きぐあいでも回転数を調整してください。  
(P.20「回転数・打撃数の調整」参照)



## ● 1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。  
(穴あけ数は、コンクリートの状態、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

作業内容 (mm)		形名	DH 36DBL	DH 36DBDL
		蓄電池	BSL 3660	
ビット外径	深さ		穴の数	
8.5	40		約 385 個	約 260 個
10.5			約 300 個	約 230 個
12.5			約 250 個	約 200 個
14.5			約 210 個	約 150 個
16.5			約 160 個	約 135 個
18.0			約 150 個	約 100 個
20.0			約 110 個	約 90 個
24.0			約 65 個	—
28.0			約 50 個	—

# ハツリ・破碎する

●コンクリートのハツリ・破碎・溝掘り・角出し・はがし

## ⚠警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

**注** 集じんシステムを取付けた状態では、使用できません。

## ⚠注意

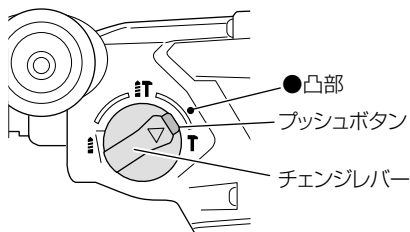
ハツリ・破碎用工具などは必ず"打撃"の位置で使用してください。  
"回転+打撃"の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

## 1 工具を取付ける

P.22「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

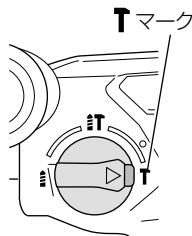
## 2 工具の向きを決める

コールドチゼルやカッタを使用するときは、プッシュボタンを押し、チェンジレバーを●凸部の位置に合わせ、工具先端の向きを決めます。  
(P.19「作業モードの設定」参照)



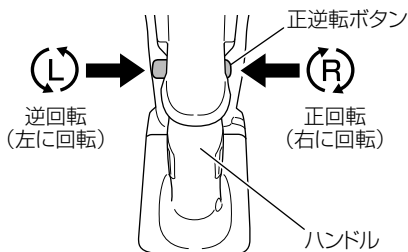
## 3 作業モードを"打撃"に切替える

プッシュボタンを押しながらチェンジレバーをTに合わせます。  
(P.19「作業モードの設定」参照)



## 4 正逆転ボタンを(R)側から押して正回転にする

(P.17「回転方向の切替え」参照)



## ⚠注意

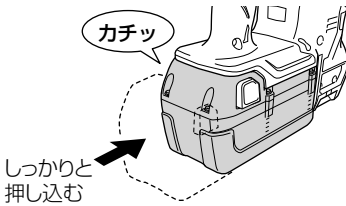
作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。

反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。無理に突きさしたり、押さえつけても作業の効率は上がりません。

床面のハツリ・破碎の際には、機体の自重を使用し、反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。

## 5 蓄電池を取付ける

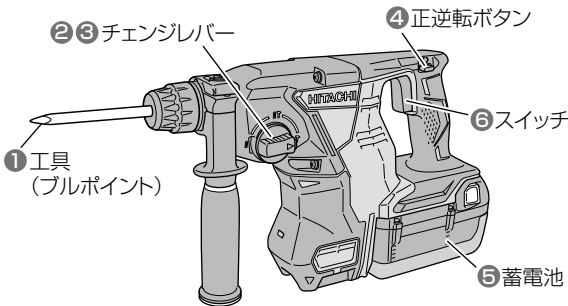
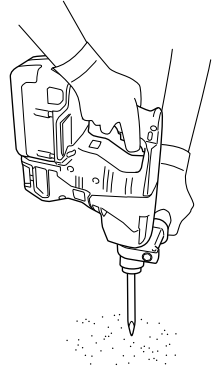
下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。  
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



## 6 スイッチを入れる

• ハツリ・破碎する位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。

• スイッチの引きぐあいで打撃数を調整してください。  
(P.20「回転数・打撃数の調整」参照)



# 穴をあける・ねじを締付ける

ドリルチャック【別売部品】を使用して

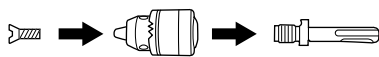
- 金属・木材の穴あけ
- 小ねじ・木ねじの締付け

## 警告

工具やデブスゲージの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 注**
- 穴あけ、ねじ締めを行うには別売のチャックアダプタセットが必要です。別途、お買い求めください。
  - 集じんシステムを取付けた状態では、使用できません。

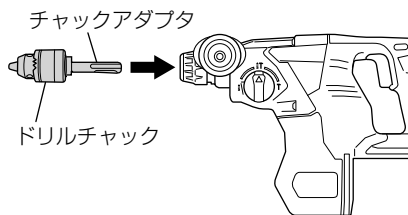
### 1 ドリルチャックにチャックアダプタを取付ける



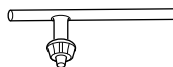
チャック取付ねじ      ドリルチャック      チャックアダプタ (SDSプラスシャンク)

### 2 機体にチャックアダプタを取付ける


P.22「工具の取付け・取りはずし」の手順に従いチャックアダプタを取付けます。

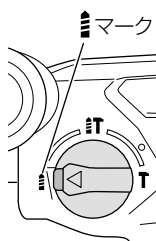


### 3 市販のドリル(ドライバビット)をチャックハンドルを使ってドリルチャックに取付ける



### 4 作業モードを"回転"に切替える

チェンジレバーを  に合わせます。  
(P.19「作業モードの設定」参照)



- 注** チャックアダプタ・ドリルチャックホルダを使用して "回転+打撃" の作業はしないでください。故障の原因になります。

## ⚠ 警告

使用中、振り回されないように、サイドハンドルとハンドルをしっかりと握って作業してください。

## ⚠ 注意

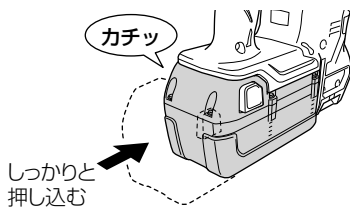
- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。  
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- 穴の抜けぎわにドリルを折る場合がありますので、穴の抜けぎわに機体を材料に押し付ける力をゆるめてください。

## 5 正逆転ボタンを押して回転方向を合わせる

P.17「回転方向の切替え」を参照してください。

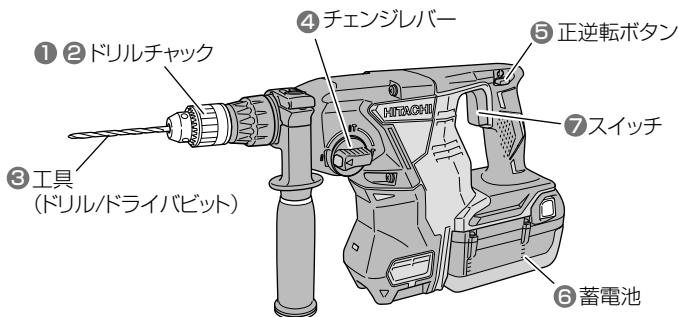
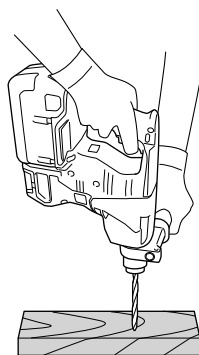
## 6 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。  
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



## 7 スイッチを入れる

- 作業を開始する前に次ページの内容をよく読んでください。
- スイッチの引きぐあいで回転数を調整してください。  
(P.20「回転数・打撃数の調整」参照)



## ●木材に木ねじを締付ける

ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。

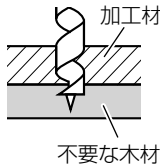
下表を参考にしてください。(できるだけプラス溝の木ねじをご使用ください)

木ねじ呼び径 (mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1	5.5
下穴径 (mm)	2.0	2.2	2.5	2.9	3.3	3.6	3.9	4.3
	}	}	}	}	}	}	}	}
	2.2	2.5	2.8	3.2	3.6	3.9	4.2	4.6

## ●木材にきれいな穴をあける

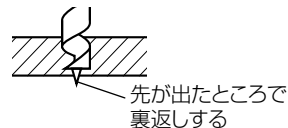
### 不要な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

木工ドリルが裏側へ突きぬけるときの発生するバリを防ぐことができます。



または

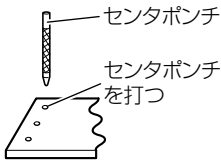
### 木工ドリルの先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける



## ●金属へ上手に穴をあける

### 市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



さらに

### 鉄工ドリルの先に機械油か石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

**注** 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、ドリルがドリルチャックからずれることがあります。

このような場合は、工具本体の押し付け力を弱め、ドリルがすべらないようにしてください。



# 作業上のご注意

## ●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は本機を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

また、温度保護回路が作動しているときに、スイッチを引くと電池残量表示ランプが点滅します。

## ●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）でモーターを停止させる作業を連続的に行くと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

## ●コードレス工具の保持と押し付け力について

コードレス工具は両手で確実に保持してください。コードレス工具を保持した際には、ねじやボルトに対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、コードレス工具は必要以上に押し付ける必要はありません。

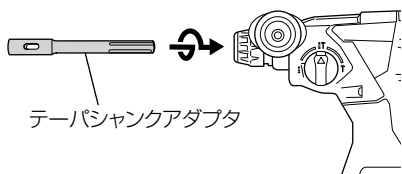
コードレス工具本体をこじる力や押し付ける力が過度にかけると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

# テーパシャンクアダプタ【別売部品】の使い方

テーパシャンクアダプタを取付けると、テーパシャンクタイプのドリルビットを使用できます。

## 1 テーパシャンクアダプタを機体に取り付ける

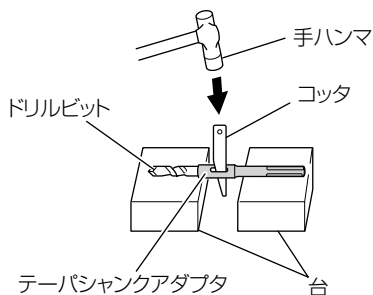
P.22の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従いテーパシャンクアダプタを取付けます。



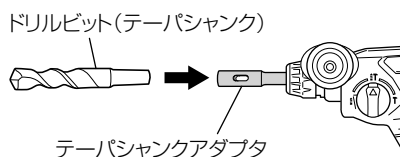
## 3 以下 P.25「穴をあける」の②からの手順に従い作業する

## 4 ドリルビットをテーパシャンクアダプタから取りはずす

テーパシャンクアダプタの長穴部分にコッタを入れ、コッタの頭を手ハンマでたたいてはずします。



## 2 ドリルビットをテーパシャンクアダプタにさし込む



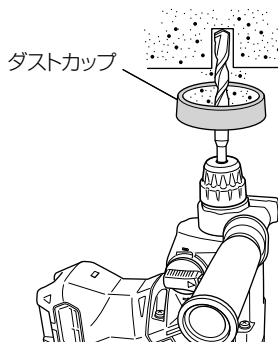
# ダストカップ・集じんカップ (B) 【別売部品】 の使い方

上向き作業をする場合は、ダストカップまたは集じんカップ (B) を取付けると、切粉の落下が少なく、作業がしやすくなります。

## ダストカップを使用する場合

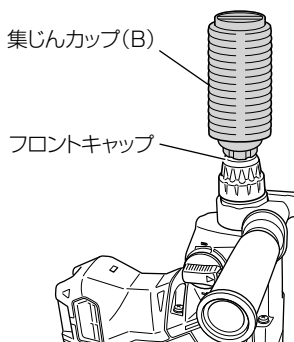
ダストカップは図のように、ドリルビットに取付けて使用します。

太径のドリルビットの場合は、ダストカップの中央の穴をドリルビットでひろげて使用してください。



## 集じんカップ (B) を使用する場合

集じんカップ (B) を使用する場合は、ドリルビットを取付けた後、集じんカップ (B) を図のように先端から押し込んでください。



**注** •ダストカップおよび集じんカップ (B) は、コンクリートの穴あけ専用です。  
金属、木材の穴あけには、使用しないでください。

•集じんカップ (B) はフロントキャップに密着するよう十分に押し込んでください。

•集じんカップ (B) をコンクリート面からはなした状態でスイッチを入れると、集じんカップ (B) がドリルビットと一緒に回転してしまい、集じんカップ (B) がグリップ部からはずれることがあります。

必ずコンクリート面に押し付けてからスイッチを入れてください。

〔全長 190 mm 以上のドリルビットと共に集じんカップ (B) を使用すると、集じんカップ (B) がコンクリート面に接触せず、回転してしまいます。〕

集じんカップ (B) は全長 166 mm、160 mm、110 mm のドリルビット用として使用してください。〕

•粉じんは穴あけ 2 ～ 3 本ごとに捨ててください。

•ドリルビットの交換はダストカップ、集じんカップ (B) をはずしてから行ってください。

# コアビット【別売部品】の使い方

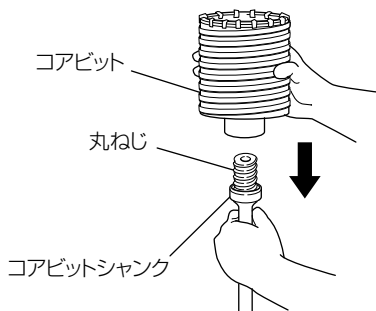
コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品を使用すると、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

## ⚠警告

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

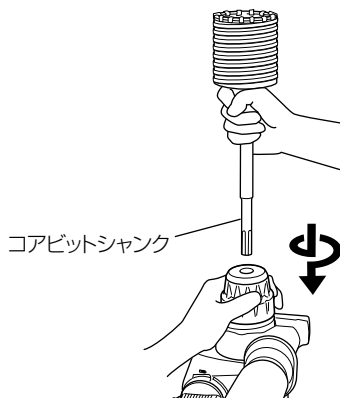
### 1 コアビットシャンクに コアビットを取付ける

丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときにゆるみやすくなります。



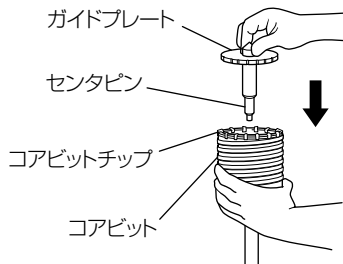
### 2 コアビットシャンクを 機体に取り付ける

P.22の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。



### 3 ガイドプレート、センタピンをコアビットにさし込む

- ① ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。
- ② ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み、左・右どちらかに回します。



4

## 作業モードを "回転+打撃"に切替える

P.19の「作業モードの設定」を参照してください。

5

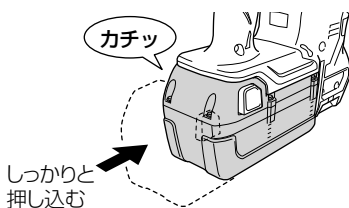
## 正逆転ボタンを(R)側から 押して正回転にする

P.17「回転方向の切替え」を参照してください。

6

## 蓄電池を取付ける

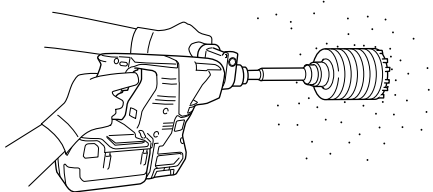
下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。  
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



7

## スイッチを入れる

- あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、穴あけを開始します。
- スイッチの引きぐあいで回転数を調整してください。  
(P.20「回転数・打撃数の調整」参照)



8

## 位置決めの完成

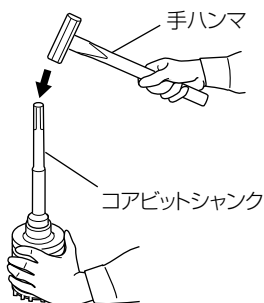
約5mm穿孔すると位置決めの溝が完成します。

コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして、完成した位置決めの溝に合わせて穴あけをすすめます。

9

## コアビットを取りはずす

機体からコアビットシャングをはずしてコアビットを手で持ち、コアビットシャングの頭を手ハンマで2～3回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。



# 電池スペーサ【別売部品】の使い方

蓄電池 BSL 3626 を使用する場合は、電池スペーサを必ず取付けてください。

## ⚠ 警告

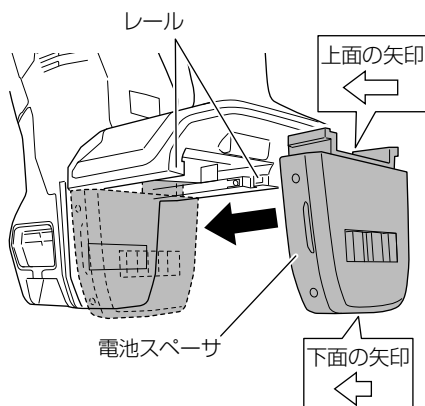
蓄電池は確実に取付けてください。

確実に固定していないと蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

**注** 電池スペーサを取付けずに使用すると、故障の原因になります。

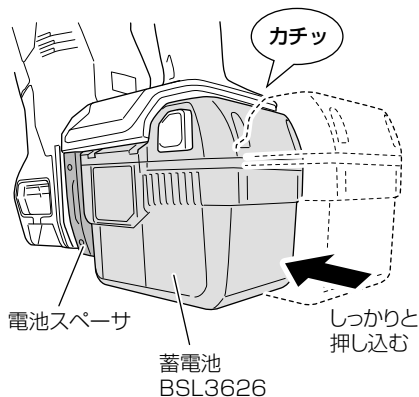
## 1 電池スペーサを機体に取付ける

電池スペーサを取付けるときは、機体のレールに沿って上面 / 下面の矢印の向きで、奥までしっかり押し込んでください。



## 2 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。  
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。  
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ● グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。  
しかし、機体を長持ちさせるために1年ごとにグリースの交換をしてください。

**注** 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を損なう恐れがありますので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店にご依頼ください。

### ● 工具の点検

摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

### ● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります  
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

### ● お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ● モーター部の取扱いについて

内蔵のモーター部 (P.9「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

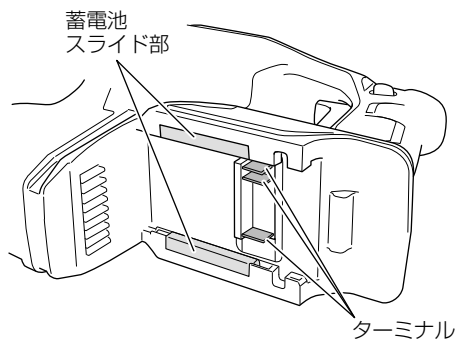
**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。  
機体内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ● 蓄電池取付部の清掃について

コンクリート穴あけ後、蓄電池取付部のターミナルや蓄電池スライド部にコンクリート粉じんが付着した際は、乾いた布などで付着したコンクリート粉じんを清掃してから使用してください。

また、清掃後、本体と蓄電池がスムーズに脱着することを確認してください。

**注** コンクリート粉じんが付着したまま使用すると、使用中に蓄電池が落下するなど、事故の原因になります。  
また、蓄電池とターミナルの接触不良や故障する原因になります。



## ● 作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

**注**

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。



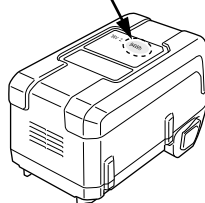
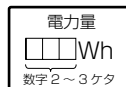
## ● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

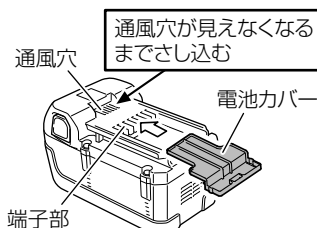


## ● リチウムイオン電池の保管について

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
また、充電器や蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

※集じんシステムの故障診断については、「コードレスロータリハンマドリル用集じんシステム」の取扱説明書を参照してください。

## 1. 工具体

状 況	原 因	対 策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池を押し込んでください。
	蓄電池取付部のターミナルおよび蓄電池スライド部にコンクリート粉じんが付着している	乾いた布などで、付着したコンクリート粉じんを清掃してください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取除いてください。
	RFC が作動した	(P.21 「RFC について」参照)
	蓄電池または本体が過熱状態になった	蓄電池および本体を十分冷ましてください。
先端工具が 取付かない 抜ける	取付け部形状が合わない	SDS プラスシャンクタイプで、指定の範囲内の径のものを使用してください。
穴あけが上手にできない	ドリルが摩耗している	新しいドリルに交換してください。
	逆回転で作業している	正回転に切替えてください。
ねじ頭が なめる / はずれる	ビット No. が、ねじサイズと合っていない	適正なビットを付けてください。
	ビットが摩耗している	新しいビットに交換してください。

## 2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日影などで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておかれますと、  
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

右のQRコードをバーコードリ  
ーダー機能付きの携帯端末より  
読み取ることで、最新の全国営  
業拠点をご確認いただけます。



# 日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>